

# 回 覧



## 値小だより

島から日本一楽しい学校を  
～子どもが未来に誇れる学校～

平成29年1月11日 第24号  
校長 酒井元治

### あけまして おめでとうございます

新しい年の始まりです。保護者のみなさま、地域のみなさまには旧年中たいへんお世話になりました。今年もどうぞ、よろしく願いいたします。

さて、昨日、3学期始業式の校長講話です。

「1月は終わりへのスタート」という話をしました。もちろん1月は1年のスタート。「初〇〇」や「〇〇はじめ」「〇〇ぞめ」なんていうもののオンパレードです。子どもたちが知っていそうなものは「初詣」（始業式で聞いたら行ったという子は少数）、「書き初め」「初夢」などでしょうか。



ついでなので、「初夢」に出てくると縁起がいいと言われる、ベスト3はご存じのように「一富士、二鷹、三なすび」。江戸時代から伝えられているようですが、徳川家康のゆかりの地、駿河（静岡）の名物を取り上げた（茄子は当時、初茄子といって全国に先がけて出荷が早かった）という説、「富士」≡「不死」、

「鷹」≡「高い」（出世）、「茄子」≡実がよくなるので子孫繁栄につながるという縁起担ぎという説があります。

（講話のテーマとはちょっとずれますが、こんな雑学も日本人としては知っておいてよかろうと思ひ話しました。）何はともあれ、1年の初めというのは縁起を担いだり、大事にしたりするものです。

1年は1月に始まり、12月に終わります。もちろん学校は4月に始まり、3月に終わります。「これを『年度』と言ひ、まだ28年度で、3学期はその終わりなんだよ。」と話すとき「ええ～」とけっこう驚きの声。これも余談ですが、4月に学校が始まる国はすごく少ないようです。（右表）日本がどうして4月始まりなのかということについては、稲作の周期（欧米では麦の周期）に合わせたという説や徴兵制に合わせたという説があります。



この3学期が終わると、もちろん新しい学年に進級したり、新しい1年生が入ってきたりする、そして、今の担任の先生と今のメンバーでの学年もこの3ヶ月限り。3月には6年生が卒業し、数人の職員がこの小値賀を去ることになります。その3ヶ月で28年度の、そして自分なりの「有終の美を飾る」とはどんなことなのか。1学期や2学期にけんかをしていても、これまでテストの点数が悪くても、なんとなくクラスがおもしろくなくても、それを挽回する3学期です。

新学期	国（一例）
1月	シンガポール、オーストラリア、ニュージーランド、フィジー
2月	ブラジル
3月	アルゼンチン、韓国
5月	タイ
6月	フィリピン
9月	アメリカ、カナダ、スペイン、イタリア、フランス、イギリス、オランダ、ロシア、ベルギー、ブルガリア、トルコ、イラン、エジプト、チュニジア、モンゴル、中国、台湾、ベトナム
10月	カンボジア、ナイジェリア、セネガル

学校にとっての1月とは

- ・学年のまとめに向けて、走り出すスタートです。
- ・これまでの自分を変えるチャンスです。
- ・もっと自分の得意なことを伸ばす3学期です。
- ・得意なことを見つける1月です。

そして、最高の1年だったと言うための3ヶ月です。



### 小値賀町の成人式に思う

1月3日、町の成人式が行われ、参加してきました。私が斑小学校にお世話になり、斑小学校閉校のときに小学校3年生だった3名の若者の成長も見る事ができました。まさか、あの3名の立派な成人姿をこのような形で見せていただくことは、当時想像もしていなかったことだったので感慨深いものでした。

さて、この成人式で感心したことが二つあります。一つめは、式に臨んでいる新成人の態度の良さです。他の市町では、祝辞の間おしゃべりをしていたり、ス



マホをいじっていたりするのは当たり前。中には、ちょこまかと動き回る新成人の姿も見られるものですが、小値賀町では全員が背筋をぴんと伸ばして1時間を越す式に臨んでいました。そうせざるを得ない雰囲気もあるのでしょうか、すばらしい小値賀町の伝統です。

二つめは、しっかりと自分の今や将来を見据えた頼りがいのある若者がほとんどであることです。30名の新成人に対し参加者は29名、その中で警察官、消防士になった方、看護・介護関係を目指し実際に仕事をしている、あるいは勉強中の方、小値賀の流れとも言えるトヨタ系やデンソーなどにお勤めの方など、いわゆるしっかりと地に足がついた今や将来を見据えた若者が多いことに今更ながら驚かされました。様々なことに選択肢が多く、自分の将来でさえ選択することがままならない現代にあって、現実的な将来のビジョンを持つに至った力はどこに起因するのだろうと思いつつ参加をしていました。

これは私個人の想像でしかないのですが、その理由の一つは複雑ではない単純明快な目標をこの島の中で見てきたということが、このような若者を育てる土壌になったのではないかと。ぼやけた職業ではなく、自分が見てきた職業、テレビ等でも取り上げられるけどわかりやすい職業を目指すという環境と指導が行き届いているのではないかと思うのです。

もう一つは、しっかりと自立というものを直視しているということです。経済的にも精神的にも親からの自立とはどんなものなのかをしっかりと肌身でわかっている感じがしました。

いずれにせよ、すばらしいしっかりした若者を育てている小値賀町です。今の小学生にもこの伝統を受け継がせたいものです。

## 3学期のめあて

始業式には各学年代表による学期のめあての発表があります。今回は5年と6年代表の作文を紹介します。

3学期にがんばること

5年 川村 聖斗

3学期にがんばることは四つあります。一つめは規則正しい生活をする事です。ぼくは、2学期の終わりごろからゲームのしすぎで元々9時に寝ていたのが9時30分に寝るようになってきました。なので、1日何分と決めてやりたいと思います。

二つめは友だちと仲良くするという事です。ぼくは、思わず友だちが何もしていないのにたたいたり、強い口調で言ったりしてしまうことがあります。なので、そこをがまんしてたたかずやさしい口調でしゃべろうと思います。

三つめは野球で復活するという事です。なぜかという、骨折をしていたからです。

骨折をしていて何もできなくなっていると思います。だから、しっかり自主練をしてがんばります。

四つめはもう少しで6年生になるので、下級生を引っ張っていけるリーダーになれるようがんばります。



(個人情報保護のため、掲載している文と写真は一致しません。)

3学期にがんばりたいこと

6年 大久保 綾美

「卒業まで何日あるのかな？」私はカレンダーを見て、数えてみました。学校で勉強する日は、1月は16日、2月は20日、3月は12日で、合計で48日でした。あと、たった48日で私は小学校を卒業します。とっても残り少ないと感じます。2学期を振り返ると、がんばったことが二つありました。

一つめは算数です。6年生の初め、私はわからない問題が多かったです。ですが、先生がわかりやすく教えてくださいました。そのおかげでテストでいい点を取ることができるようになりました。

二つめは、ロードレースです。私は速く走れずに最下位ぐらいになって、いつも悔しい思いをしていました。でも、6年生になっておばあちゃんが私をきたえてくれました。10月に毎週3回ぐらい走る練習をしたのです。そして、ロードレース当日、私は13位でした。去年に比べて8位ぐらい順位が上がっていました。その時、私はとてもうれしかったです。努力することは、大切なんだと気がつきました。

卒業まであと48日です。3学期は学習したことを復習して、中学校でも困らないようにしたいと思います。そのために、勉強中にわからないことがあっても空らんせず、自分の考えたことを必ず書きたいと思います。

生活では、早寝ができるようになってきたので、これからもゲームやテレビの時間を減らして、早寝・早起きを続けます。

そして、家族のために私ができることを少しずつ増やしたいと思います。